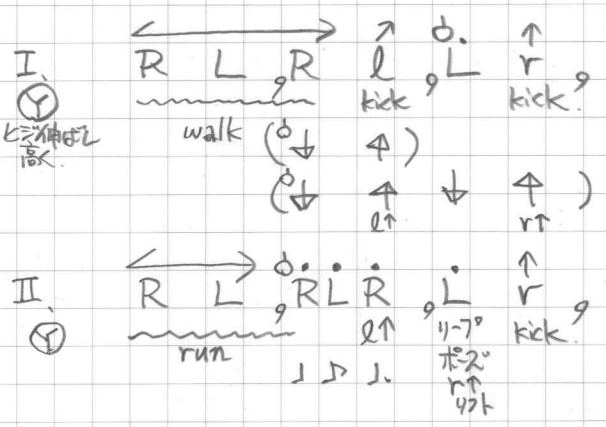
= Atabari = アタバリ (ArtvinBari)　Artvin-Türkiye

♫♫ 6/8　Ahmet Lüleci 2011 他 各種ソース



<ロメモ>
- Ahmetは、うたの部分で I, 前奏で II を行った。Squat なし.
  音楽がかわったら動きの途中でも次のStepに移る。
- I で Squat できる。
- 身体は 堅く、緊張感を保って踊る。

2026.11.1 初版

Deniz

ATABARI

Bahçası var, bağı var. Ayvası var, narı var
Atamızdan yadigâr, bizde atabarı var.

Uzun uzun kamışlar, ucunu budamışlar.
Benim ela gözlümü gurbete yollamışlar.

Ben bir uzun kamışım, yoluna dikirmişim.
İster al, ister alma, alnına yazılmışım.

Burası baba evidir, tahtaları kavidir.
Çalın, vurub, oynayın, burası düğün yeridir.

Ata barıdır barı, bahçada gördüm yari
Seslendim, ses vermedi, ağladı zarı zarı.

そこには庭があり、果樹園がある。マルメロがあり、ザクロがある。

先祖代々受け継がれてきた、祖先の踊りアタバルがある。

長く伸びた葦（あし）、その先端が剪定されている。

彼らは私のヘーゼル色の瞳を持つ愛する人を異国（ガルベト）へと送り出した。

私は一本の長い葦、あなたの歩む道に立っている。

私を受け入れるか、どうか、私はあなたの額に（運命として）刻まれている。

ここは父の家、その床板は頑丈だ。

遊び、踊り、祝う、ここは結婚式にふさわしい場所。

これぞアタバル、庭で愛する人を見かけた。

声をかけたけれど返事はなく、あの人はただ激しく泣いていた。

＝＝＝

起源： このダンスは、グルジア（ジョージア）国境から遠くないトルコ北東部の都市および州の名前であるアルトヴィンの踊りです。ダンス名は、ムスタファ・ケマル・パシャ（後にアタチュルク「トルコ人の父」と呼ばれる）に由来しています。
1936 年、「第 1 回バルカン民族舞踊祭」に参加したアルトヴィンの民族舞踊団は、アタテュルクの臨席のもと、Artvin Barıという踊りを披露しました。アタテュルクはこの舞踊に大変感銘を受け、再演を依頼し、自ら先頭の踊り手として最後まで踊り続けました。この出来事を記念して、公式文書により舞踊の名前は Atabarı（アタバル）に変更されました。
「我らがアタテュルクの遺産、それがアタバルです。」
タイトルの意味（訳）：「父」のバル（ダンスの一種）
別名：Artvin Barı

1936 年 9 月、イスタンブールのイステアタテュルク（Beylerbeyi Sarayı：ベイレルベイ宮殿）で開催された「第 1 回バルカン民族舞踊祭」の夜、**アタテュルク大統領がアートヴィンの若者たちと共に「アタバル（当時の名称：Artvin Barı）」を踊った瞬間の、実際のモノクロ写真**です。



